

12月議会の質問順が決まりました。

12月議会の質問順が決まりました。梅木議員は今回2日目の最終です。この順番は、議長が決めることになっています。

敬称略

12月11日（月）山本 光明・上田 栄一・中野寛之・大野 立志

12日（火）宇都宮宗康・児玉康比古・武田典久・梅木かつこ
一人30分の質問時間です。傍聴においでください。

梅木かつこ議員は以下の項目で質問をおこないます。

- 1, 土地開発公社の解散と阿蔵高山残土処理場の建設について
- 2, 野菜価格保障支援や小規模企業振興基本条例の制定と
市長の公約した「道の駅」構想について
- 3, 肱川の病院確保について
- 4, 介護保険制度と総合支援事業や障害者支援法の関わりについて
- 5, 地域公共交通について・市民アンケート結果と長浜要望について
- 6, 大洲小学校放課後児童クラブの環境整備についてと
3歳児保育の拡大について
- 7, 市職員の待遇改善について

平成28年度の歳入歳出決算の 認定に対する議案について

12月5日、午前10時から議会初日がおこなわれました。はじめに平成28年度の歳入歳出決算の認定に対する議案が出されました。梅木かつこ議員は以下の指摘をし、討論をおこないました。

梅木かつこ市議の2016年度の決算に対する反対討論です

市民の皆さんは、働いても働いても食べていくのがやっと、と苦しい暮らしのなかで税金を払い、各種サービスの縮減に大洲市の財政が厳しいからと我慢して来ました。

右ページに続きます。

一般会計では、本市は、合併11年目の平成27年度から平成31年度までの5年間で交付税の加算額が約16億円減額されるからと、平成19年度の3億円から財政調整基金を30億円1700万円積み増しました。その後、国が加算額縮減分の7割を還元する事になり、16億円の減額予定が5億円程度になり、財政調整基金が30億円は十分すぎる基金です。算定替えの減額が11億円も違うのですから、財政調整基金を取りくずし、椎茸の栽培や米の価格への支援等、住宅リフォーム制度の実施や中小企業の方々への支援、各種団体への補助金アップ、公共交通の早期実現や小児科の新設や子ども医療費の通院無料化など早期の実施をすべきです。市民の暮らしが良くなってこそ税金が納められ、本市の活力はつきます。

また、決算審査で、不用額が翌年度くり越し事業の財源を引いても約19億円あることがわかりました。単年度で19億円の不用額は大きいと思います。市民の皆さんの要望に応える取り組みをすべきです。たとえば、用悪水路費は執行率75.7%ですが、市民の方から、古川の悪臭対策をの願いに応えるべきです。

特定不妊症の治療費助成が実施されました。そして、第3子の保育料、授業料が無料になりました。また、障害者の常生活用具に人工内耳体外機等があらたに加わりました。大洲市の学校図書館の本の充足率を国基準100%にするために、5年間で毎年200万円の予算措置が2016年度からはじまり、決算では充足率92.3%です。評価できます。

一方、就学援助事業の対象者は小学校は255人、中学校146人、計401人です。17才以下の子どもさんがいる世帯が3800世帯。そのうち、非課税世帯、さらには生活保護基準の方が460世帯と答弁されました。世帯数にも達していません。広報活動や、具体的支援の強化が必要です。就学援助金条例の制定を求めましたが実施されていません。

山鳥坂ダム建設を進める予算で、山鳥坂ダム地域振興基金積み立てがされています。また原発とも共存の立場です。

市民の皆さんの暮らしが厳しいからと言ってきたのに、議員の期末手当が0.1ヶ月引き上げられました。

理事者は「国の成長を図る上でTPPはさけて通れません」等とし、具体的な影響額も国の試算を鵜呑みにしたもので許されません。土地開発公社を早期に解散すべきです。

こうした内容を含む決算は承認できません。